



特集I

地域農業の更なる発展を
農業振興大会



将来見据え、優良な子牛生産を

今月の
表紙

まくち 菊池
りゅうと 琉都さん(24)

「幼い頃から、牛は家族の
ような存在。一頭一頭に個性が
あり、それぞれに思い入れが
あります」と笑顔をのぞかせ
るのは、紫波町南伝法寺で和
牛繁殖を行う菊池琉都さん。
一昨年の夏に就農し、祖父・母
とともに母牛27頭と子牛19頭
を飼養しています。

畜産を営む菊池家の長男と
して育った琉都さんは、自然
な流れで盛岡農業高校の畜産
科へ進学。転機となったのは
高校2年生の時、飼育を手掛
けていた父の急逝でした。「牛
をどう育てていったら良いの

か、不安が大きかった」と当時

の心境を語りながら「手探り
ではありましたが『家業を守
ろう』と家族で奮闘していま
したね」と振り返ります。後
継者としての決意を新たに、
高校卒業後は農業大学校でさ
らに知識や技術を習得した琉
都さん。授業を通じた学び以
外にも、同期との出会いが大
きな財産になったといい「今で
も定期的に集まり、良い刺激
をもたらしています」と、同世代
と切磋琢磨しながら、日々の
やりがいにつながっています。ま
た、地域の先輩農家の存在も



『食農立国』とは、JAいわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。JAいわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切に、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。

小学6年生の時に、妹の菜織さんと共に「JAんぶ」の表紙を飾った琉都さん。将来について「お父さんの跡を継ぎたい」と力強く語っていました



生後1週間から3ヵ月程度の子牛に対し「制限哺乳」を取り入れている菊池家。日中は高たんぱくな飼料を与え、子牛の発育促進を図っています



菊池家では、牧草と稲発酵粗飼料(WCS)、配合飼料を順番に与えています

目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
菊池 琉都さん(紫波町)	
特集I	4
地域農業の更なる発展を 農業振興大会	
特集II	6
第49回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール	
NewsFile	8
意見交わし技術磨く リンゴ剪定講習会 他	
営農情報	10
グリーンセンター営業時間変更のお知らせ 他	
お問い合わせ先の変更について	11
農家組合レポート	12
食べてみて！おらほのイチオシ まちのスマイル	13
サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ！ インフォメーション	14
JAいわてグループ 合同職場説明会 他	
今月のレシピ	16
ナメコとエノキタケの酢の物	



JAいわて中央のホームページでは、広報誌のバックナンバーを公開しています。
詳しくはこちら▶



大きいと話す琉都さんは「就農当時から、相談しやすい環境で牛飼いができていることがとてもありがたいです」と感謝の言葉を続けました。

子牛を約10ヵ月間飼養し、子牛市場に出荷する、繁殖農家の仕事。母牛は1年間のうちに子牛1頭を出産する「1年1産」が理想とされ、そのための飼養管理や安全な分娩が何よりも大切です。そして、効率良く子牛を産ませるためには、発情の兆候を見極め適期に人工授精を行うことや適

切な栄養管理で体づくりを行うことにも気を配ります。

子牛の飼養管理の一つとして「制限哺乳」の方法を取り入れている菊池家。子牛に朝・晩の限られた時間のみ母乳を与え、日中は母牛と隔離した場所での給餌をすることで、餌の食いつきが良くなり、子牛の発育促進などの効果が期待されます。その他、病気やストレスの原因となる環境を整えることも、健康で優良な子牛の育成に欠かせません。

子牛価格や枝肉価格の低

迷、さらには飼料等の農業資材の高騰など、畜産業を取り巻く環境は厳しさを増しています。琉都さんは「いずれは肥育にも挑戦し、一貫生産で安定した経営を目標にしたい」と将来を見据えながら、今後について「まだまだ苦慮しているところもありますが、経験を積みながら飼養技術を磨きたい。そして、肥育農家や地域の皆さんに『良い子牛だね』と言ってもらえるような牛を育てていきたいです」と力を込めました。



特集Ⅰ

地域農業の更なる発展を

農業振興大会

J Aは1月16日、盛岡市内で令和6年度農業振興大会を開きました。同大会は2年に1回開催しており、将来に向けた地域農業の発展とJ Aを基軸とした活力ある地域社会づくりの方向性について相互の認識を深めることを目的としています。今月の特集Ⅰでは同大会の様様をご紹介します。

10年後を見据えた 持続可能な農業を

今大会には、農家組合長や協力組織の代表、行政・関係機関、J A役員など約140人が出席しました。

開会にあたり、佐々木雅博組合長は農業を取り巻く環境



あいさつする佐々木組合長

や社会情勢に触れながら「生産現場の実態を踏まえた農政活動を展開し、組合員の要望を反映した実効性のある政策の確立を求めている」と強調し、「『食農立国』J Aいわて中央ブランドの更なる普及拡大に努め、農家組合員の所得向上に全力を尽くしていく」と力強くあいさつしました。

大会の初めに、「銀河のしずく」への品種転換と組合員の生産意欲向上への取り組みに感謝の意を表し、J Aの取引先の㈱武蔵野へ感謝状と記念品を贈呈。同社執行役員の

小倉久仁彦氏は「銀河のしずく」の食味は大変好評。今後も組合員の皆さんが安心して生産できるよう、継続的に取り組んでまいりたい」と呼び掛けました。

基調講演では、J A全中教育部長の田村政司氏が講師を務め「J Aの組織づくりは、農業・地域・人づくり」と題して講演し、組合員組織の意義と課題などについて解説。研修では、菅原弘範常務が、J Aが掲げる農業ビジョン（案）を示しながら、基本目標や基本方針、目指すべき方向

基本テーマ （目指すべき方向性）

農業の輝きで活力ある地域社会を築く

基本方針Ⅰ 多様な農業者が活躍する農業の展開

【重点施策】

- ① 農業人材の育成・確保による地域農業の活性化
- ② 労働力の確保による地域農業の活性化
- ③ 農作業の効率化による生産性の向上

基本方針Ⅱ 持続発展的な農業の展開

【重点施策】

- ① 生産力強化による産地の確立
- ② 販売力強化による魅力ある農業の展開
- ③ 営農指導の強化による農業経営改善

基本方針Ⅲ 未来へ繋ぐ農業の展開

【重点施策】

- ① 環境に配慮した農業の推進
- ② 集落活動の活性化による農地の保全
- ③ 情報発信による農業への理解の醸成

性などを説明しました。

J Aの農業ビジョン（案）では、基本テーマ「農業の輝きで活力ある地域社会を築く」の実現を目指し、3つの基本方針①多様な農業者が活躍する農業の展開②持続発展的な農業の展開③未来へ繋ぐ農業の展開に沿った重点施策を通じて、農業が地域社会を構成する一部としての重要な役割を担い、地域と共に発展していくことを目指しています。

大会の最後には、鎌田広明

J A農家組合協議会長が振興大会の申し合わせを読み上げ「J A・行政・関係機関が一体となって、地域農業の更なる発展に邁進していくとともに、我が地域の基幹産業である農業を、将来にわたり安心して営むことができるよう、組織一丸となって取り組むこと」を決議しました。



（写真上）感謝状を受け取る
（株）武蔵野の小倉久仁彦執行
役員
（写真下）講演を行うJ A全
中の田村政司教育部長



第49回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール



次世代を担う子どもたちに、毎日の食事と農業のつながり、稲作が地域で果たす役割などへの理解を深めてもらおうと毎年開催している同コンクール。今年では県内の小・中学校から作文60点・図画125点、全国では作文2万7,609点・図画4万1,104点の応募がありました。特集Ⅱでは、JA管内の入賞作品をご紹介します。

作文部門



全国コンクール・優秀賞
岩手県コンクール・岩手県知事賞

「勝負飯記念日」

岩手大学教育学部附属中学校 3年

山田 結心さん



去年の二月。弟が少年野球チームに入った。ずっとやりたい、やりたいと熱望して、念願叶ってチームに入った。

四月になり、弟は四年生になった。野球はシーズンに入り、練習試合や公式戦で丸一日野球に行っていることが多くなった。それに伴って、昼食や補食を持っていく。最初は弁当箱に弁当を持っていった。ところが、毎週毎週、残してくるようになったのだ。聞けば二試合くらい予定が組まれていると、十五分くらいしか休憩時間がないという。パンや簡単に食べられるものを母が用意してみたのだが、米が一番お腹一杯になるのだという。弟は同級生の中でも体が小さく、体重も軽い。そこに丸一日運動してくるのだから、夜しっかりと食べてほしいのだが、

疲れて帰ってきたり、夏になり暑くなってくると食が細くなった。

そこで考えたのが、我が家の勝負飯。

おにぎりの中に具材を色々詰め込んでしまうのだ。この方法は作ってる家庭はたくさんあると思う。我が家で必ず入るのは唐揚げと昆布。中身は各々の家で様々だと思う。小さめのおにぎりに食べられる具材を入れた勝負飯は、弟にも大好評だった。残してることが少なくなったのだ。

母が、この勝負飯を作り始めてから、私は自分の中学受験の時を思い出していた。受験の日、私の弁当は、この具材の中身がおにぎりの中に入った爆弾おにぎりだったのだ。ちよつと塩味のするご飯と、弁当箱に入る予定だった

具材が中に入っているおにぎり、卵焼きとデザートの入った小さい弁当箱。

何かあると我が家では、このおにぎりが勝負飯になった。弟の場合は、いつ集合がかわっても大丈夫なように一口サイズで。

まだ四年生で、控えの選手の弟はほとんど試合に出ることはなかった。七月頃からようやく、新人戦チームでの練習や、公式戦が始まったので、試合に出ることも増えた。

「美味しかったよ!」
真っ黒に日焼けした弟が帰ってくる。

「今日は試合出たの?」
「出たよ。」

「三振か?エラーか?」
そんな話をしながら弁当袋を見ると、ミニミニの勝負飯おにぎりは一つも残っていない。

ある日、卵焼きを中に入れてほしいと言ったことがあった。卵焼きはさすがに別で弁当箱だろう…。思っただけが、口には出さなかった。

朝早くから練習試合に行った弟が今日も真っ黒になって帰ってきた。

「今日ね、初めてヒット打ったんだよ!」

弟のヒット記念日

勝負飯に新たなメニューが加わった日。

おにぎりin唐揚げ、卵焼き。弟はご飯と母の作る卵焼きが世界一だ、といつも言う。

お米はどんな時も活力になる。そこに愛情というどこにも売っていない調味料が加わって、最大の勝負飯になる。

最近では弟も自分でおにぎりを握ってみることが増えた。中に具材が入っていると握るのにコツがいる、ということも最近分かったらしい。

私は今年受験生。三月には、どこかしらの高校を受験しているだろうと思う。きっとその時も、三年前と同じように勝負飯の爆弾おにぎりにちがいない。

今から弟のように具材を考えてみようか。これは合わないだろう、と思っても、ご飯と好きな具材の組み合わせなら、私も、もしかしたら弟の「ヒット記念日」のように、一発逆転があるかもしれない。

我が家の勝負飯、爆弾おにぎり。

これからも、私たちの背中を押してくれる勝負飯であり続けるだろう。

作文部門



岩手県コンクール・
岩手県教育委員会教育長賞

「我が家の元気と笑顔を守るために」

盛岡市立北松園中学校

3年

小番

和実さん



我が家では、平日は必ずごはんを朝食に食べている。学校や仕事に行くときに、パンよりごはんのほうが腹もちがいいから、力が出るという理由だ。でも私はそれ以外に、保育園に通っていた頃から中学校に通っている今もずっと、思うことがある。

私は保育園の年中頃から、家事の手伝いとして、米とぎを任された。料理をする祖母から、米とぎの際の順番、とぎ際の手の指の形、とぎ終わりの合図など、細かなことをたくさん教わり、まだ小さかった私にとつては、覚えるのが大変だった。当時は背が低く、台所の流しに手が届かなかったので、踏み台を使うと、なんとか手が届いた。いつもより目線がぐんと高くなって、大人は毎日こんな景色を見ているのかと思う、テンションが上がったのを覚えている。我が家の米とぎのルールは、必ず冷水

でとぎことだったので、初めての米とぎで、手を全部冷水につけたときは、体が凍るような感覚を味わった。しかし、祖母から初めて家事を任された使命感と、踏み台に乗って景色が変わったときの解放感で、私は毎日米とぎを頑張った。家族からは毎日、「和実がといだごはんは美味しいね」とほめられ、それがとても嬉しくて、誇らしくて、それから小学校に入学しても米とぎを続けた。私は小学校六年生になった。このときの私は、家族にやたら反抗したり、何事にも全て手を抜いて、だるそうに取り組むのが格好良いと思っていた時期で、その考え方は米とぎにも影響していた。あんなに楽しくて誇りしかなかった米とぎが面倒くさくなった。ゲームの時間を割きなくなかったし、何より手が冷たい。そして私は米とぎを以前のように丁寧にしなくなっ

た。濁った水を捨てる際に、お米は一粒もこぼさないようにという教えを破り、何度も何粒もこぼしても、気にしなかった。水がしっかり透明になるまで水を換えるという教えも破り、多少水が濁っていても知らないふりをした。そしてついに祖母に「もつと丁寧にとぎなさい」と叱られてしまった。しかし反抗的だった私はその言葉がとてども頭に來た。「寒い冬でも冷水に手をつっこんで米をといでやっているのに」と不満が爆発して、「うるさい。水が濁っていたほうが栄養があるんだ」と強く言い放ち、その後も雑に米をとぎ続けた。そうして家族から「ごはんが美味しい」とほめられることも少なくなり、毎朝「そんなにまずくない」と自分に言い聞かせて食べるごはんを、私も美味しいと感じられなくなった。悲しかった。毎朝美味しそうにごはんを食べる家族の笑顔、私が奪っているんだと思うと、とても悲しいし、後悔した。私は耐えられず、初心を思い出して丁寧に米をといだ。お米を絶対にこぼさないように細心の注意を払い、水も透明に透き通るまで何度も換えた。すると、また家族に

図画部門



全国コンクール・優秀賞
岩手県コンクール・
岩手県教育委員会教育長賞

「家族が見つめる
わたしのいくらどん」



盛岡市立仙北小学校 5年

あい はら えい
相原 映さん

「和実がといだ米が一番美味しい」とほめられた。再び聞くことができたその言葉と、家族の笑顔が本当に嬉しくて、その日の朝ごはんは一段と美味しく感じた。祖母の言葉の大切さも分かり、今後丁寧に米をとこうと、心から思った。家族にはめられたことと、家族の笑顔を取り戻せたことで自信がつき、私は今でも誇りを持って米をといでいる。ごはんを食べると力が出るのは、単に腹もちがいいからという

理由だけでなく、家族の笑顔もエネルギーになっているからだと私は思う。要するに、我が家にとつてのごはんは、元気と笑顔をつくりだす、大切なものなのだ。そんな大切なものを、私は任されている。だから、これからも丁寧に米をといで、家族の元気と笑顔を守っていこうと、私は思い続けている。やはりごはんは、我が家にとつて必要不可欠な存在なのだ。



YouTube



剪定方法を確認する生産者ら



意見交わし技術磨く リンゴ剪定講習会

J Aは1月23日、リンゴの剪定講習会を管内2会場で開き、高品質なリンゴ生産に向けた整枝・剪定の技術を学びました。管内のリンゴの剪定作業は1月から本格化し、3月下旬頃まで続く見込みです。

紫波町古館の園地で行った講習会には紫波地域・矢巾地域の生産者ら約50人が参加。J Aりんご部会紫波支部の水本一宏支部長の実演をもとに、生産者同士で意見を交わしながら、今後の作業性や薬剤のかかりやすさなどを考慮した樹形に整える方法を確認しました。



多彩な作品集う ミニ手づくり生活展

J A紫波地域女性部は1月17日、紫波支所でミニ手づくり生活展を開きました。会場には、女性部員が作った干支飾りやかごバックなどの手工芸品約300点の展示のほか、「おゆずりセール」や地元特産品の物販、休憩コーナーが設けられ、多くの来場者で賑わいました。

同部の鎌田都美子部長は「会場は昨年以上に賑わい、素敵な作品を出品してくれた部員の協力に感謝したい。今後も新しい話題を部員同士で共有し、女性の力を発揮した活動に取り組んでいきたい」と話しました。



作品を見て楽しむ来場者ら



研修後、参加者は「新しい情報を敏感に取り入れ、飼養管理や畜産経営に活かしていきたい」と感想を寄せました



畜産技術向上に向け研修 和牛技術研修会

J A畜産部会は1月16日、矢巾地域営農センターで和牛技術研修会を開き、部会員37人が出席しました。


研修では(一社)家畜改良事業団盛岡種雄牛センターの担当者が、牛のDNA情報を血統情報などと組み合わせて解析し、牛1頭1頭の将来的な能力を評価する「ゲノミック評価」の活用方法などを解説。さらに、県内で作付けされ、管内でも栽培の実証試験が進んでいる稲WCS専用品種「つきはやか」について、盛岡農業改良普及センターの担当者が栽培特徴や牛の嗜好性などを報告しました。

・ SDGsへの
・ 取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。




恵方巻に具材を並べる参加者ら

 家族で楽しく恵方巻づくり
イケパパセミナー

JAは2月1日、紫波支所でイケパパセミナー「ちょっとなが〜い恵方巻づくり」を開き、小学生以下の子どもをもつ家族7組26人が参加しました。

恵方巻には、岩手県産「銀河のしずく」や管内産の「しわもちもち牛」、卵などを使った7種類の具材を使用。家族で協力しながら下準備をした後、約90cmの巻きすにのりを敷き、酢飯や具材を並べて巻きました。参加者は「家族みんなで参加できる機会がないので嬉しかった。楽しく調理できた」と感想を寄せました。

 活発な取引願って初市式
和牛子牛市場初セリ

雫石町のJA全農いわて中央家畜市場では1月15日、和牛子牛市場の初セリと初市式が行われました。


初セリに先立って行われたJAいわて中央の初市式には生産者など約40人が参加。JA畜産部会の佐藤昌司部会長は「子牛・枝肉の価格が上昇すること、そして今年も皆が健康で牛飼いができるよう願う」とあいさつしました。初セリにはJA管内から58頭が上場し、平均価格は雌で431,190円、去勢で540,595円。また、最高価格は雌で622,000円、去勢で688,000円となりました。



初セリには全体で232頭が上場しました



「走るトナカイ」の出来映えを確認する参加者

 JA紫波地域女性部
冬休み親子工作教室

JA紫波地域女性部は1月7日、紫波支所で冬休み親子工作教室を開き、管内の小学生とその保護者ら8組19人が参加しました。参加者は、家の光協会が発行する雑誌「ちゃぐりん」に掲載された記事を参考に、プラスチック容器と風船で作る「パーカッション」と、紙コップを使った「走るトナカイ」を作りました。

参加した児童は「『パーカッション』がおしゃれに見えるように工夫した。難しかったけれど上手に作ることができて嬉しい」と笑顔を見せました。

令和7年3月から

グリーンセンターの土日・祝日の 営業時間に変更になります

対象月	土	日・祝
3月14日まで	休み	休み
3月15日から	通常営業	午前営業
4月	通常営業	午前営業
5月	通常営業	午前営業
6月	通常営業	休み
7月	通常営業	休み
8月	通常営業	休み
9月	通常営業	休み
10月	通常営業	休み
11月	休み	休み
12月	休み	休み
1月	休み	休み
2月	休み	休み

通常営業：8時30分～17時
午前営業：8時30分～12時

グリーンセンターでは、農繁期・農閑期に合わせた休日営業を行ってまいりましたが、店舗の効率的な運営によるJAの経営安定と職員の労務改善を図ることを目的に、左記の通り、土日・祝日の営業時間を変更いたします。

組合員・利用者の皆さまにはご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

グリーンセンター紫波 676-5081 グリーンセンター矢巾 697-9021
グリーンセンター都南 637-7400 グリーンセンター盛岡 659-0092
営農販売部生産資材課 673-7486

令和6年産 米検査買入状況並びに等級比率 (最終)

地域	うるち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	138,796	9,101	443	52	148,392	146,398
	93.5	6.1	0.3	0.0		101.4
矢巾	134,028	2,904	170	60	137,162	141,219
	97.7	2.1	0.1	0.0		97.1
都南	99,279	2,923	—	—	102,202	103,500
	97.1	2.9	—	—		98.7
盛岡	79,836	467	—	—	80,303	83,918
	99.4	0.6	—	—		95.7
JA計	451,939	15,395	613	112	468,059	475,035
	96.6	3.3	0.1	0.0		98.5
地域	もち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	122,229	31,425	19,413	6,215	179,282	178,361
	68.2	17.5	10.8	3.5		100.5
矢巾	22,259	6,634	533	453	29,879	29,428
	74.5	22.2	1.8	1.5		101.5
都南	47	—	—	117	164	170
	28.7	—	—	71.3		96.5
盛岡	—	—	—	—	0	0
	—	—	—	—		0.0
JA計	144,535	38,059	19,946	6,785	209,325	207,959
	69.0	18.2	9.5	3.2		100.7

(上:30kg/個 下:比率%)

野菜生産部会

キュウリ専門委員会からのお知らせ



キュウリ専門委員会では、キュウリ栽培に関する情報共有や早期の課題解決につなげることを目的に各選果場へ「お悩みボックス」の設置を始めました。日々の栽培管理のお悩みやご相談をお気軽にご投函ください。

子牛市場情報 (令和7年1月15日・中央家畜市場)

区分	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌	紫波	12	622,000	274,000	418,167	297	7,238
	矢巾	6	519,000	371,000	444,500	298	45,071
	盛岡	3	486,000	413,000	456,667	273	-58,133
	JA計	21	622,000	274,000	431,190	294	3,382
	市場計	98	622,000	238,000	439,847	285	16,308
区分	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
去勢	紫波	21	687,000	346,000	537,381	326	-12,074
	矢巾	10	688,000	402,000	562,700	336	74,325
	盛岡	6	653,000	319,000	515,000	317	-40,455
	JA計	37	688,000	319,000	540,595	327	5,228
	市場計	134	830,000	214,000	531,530	318	-11,399

お問い合わせ先の変更について

旅行センター

3月3日(月)より、(株)農協観光が管内の旅行業務を行うこととなります。旅行に関するお問い合わせは、下記の通りとなりますのでよろしくお願いいたします。旅行センターの長年にわたるご愛顧に感謝申し上げます。

3/3(月)
より

旅行プランのご相談・お申込みのお問い合わせ

(株)農協観光北東北支店

盛岡市菜園1-4-10(第二産業会館5階) TEL 622-1005

※個人旅行・団体旅行(農家組合研修旅行)は上記の他、各支所組合員課がお取次ぎいたします。

紫波支所 TEL 908-6121 矢巾支所 TEL 697-6888
都南支所 TEL 638-0075 盛岡支所 TEL 659-0616

農機センター

紫波農機センターと矢巾農機センターは、3月31日(月)をもって統合し、4月1日(火)より「JAいわて中央農機センター」となります。引き続き、組合員サービスの充実に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

4/1(火)
より

農業機械の購入・修理・整備のお問い合わせ

JAいわて中央農機センター

矢巾町大字室岡11-98-2(現・矢巾農機センター) TEL 697-3133

総合相談センター

4月1日(火)より、総合相談センター内の住宅業者向け対応窓口機能は金融部融資相談課へ、宅建センター機能は企画管理部総務課へそれぞれ機能集約を行います。なお、各種ローンのお申込み・お問い合わせにつきましては、従来通り最寄りのJA支所をご利用ください。

4/1(火)
より

住宅業者向け対応窓口

金融部融資相談課 TEL 673-7461

当組合の遊休資産(土地・建物)の賃貸などに関するお問い合わせ

企画管理部総務課 TEL 673-7011

各種ローン(住宅・マイカー・教育・農機など)のお申込み・お問い合わせ

紫波支所 TEL 908-6124 矢巾支所 TEL 697-6888
都南支所 TEL 638-0075 盛岡支所 TEL 659-0616

地元産食材を使って、伝統のキムチ作り！ 乙部農家組合



キムチに使用した食材はおよそ15種類。野菜や海の幸を贅沢に使った本格キムチは、ご飯のお供にぴったりです



乙部農家組合は12月23日、盛岡市乙部の境公民館でキムチ作り講習会を開き、組合員ら12人が参加しました。同講習会は、同農家組合生活部が20年以上行っている年末の伝統行事。参加者は先輩から引き継いだ秘伝のレシピをもとに、地元産の野菜やリンゴのほか、イカやタラなどの魚介類の下ごしらえを協力して行った後、食材を漬物樽に入れ、唐辛子などの調味料と合わせて完成させました。

参加者は「講習会で作ったキムチは家族にも好評。今年もみんなでおいしいキムチを作ることができた」と笑顔を見せ、昼食会で味わったキムチは各家庭に持ち帰りました。

〈乙部農家組合〉

同農家組合では、生産者と消費者の交流の場として、一昨年から農産物などを販売するイベントの開催にも取り組んでいます。

JA正組合員戸数 96 JA准組合員戸数 64 (1月末現在)



— 真っ赤なリンゴでつくる、
こだわりのジャム —

おすすめは

紅の林檎ジャム

1個
590円(税込)

果樹栽培が盛んな盛岡市の手代森・黒川・乙部地区の農産物を取り扱う産直・花山野。同産直では、六次産業化の取り組みの一つとして、10年以上前から地元産リンゴを使ったオリジナル商品「紅の林檎ジャム」を販売しています。使用するリンゴは晩生種「紅の夢」で、酸味が強く、果肉が赤いことが特徴。リンゴと砂糖のみで作るジャムは、シャキシャキとした果肉の食感と甘酸っぱい味わいで、淡いピンク色が食卓を彩ります。毎年12月下旬～1月上旬に製造するジャムは、ほぼ通年で産直の店頭に並ぶほか、盛岡市のふるさと納税の返礼品にも選ばれており、家庭用だけでなく贈り物にもおすすめです。

食べてみて！

おらほのイチオシ

盛岡市・手代森

かあさんや
花山野

〒020-0401

盛岡市手代森24-57

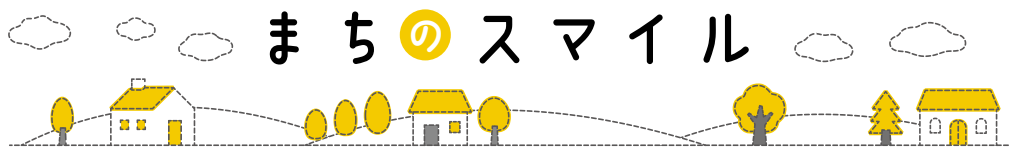
TEL 696-3420

【営業時間】

9:00～17:00

【定休日】12/31～1/4





なかよし
ファミリー



矢巾町・室岡 村松正さん・セツ子さんのお宅

むらまつ まな ゆな
村松正菜ちゃん(6) 由菜ちゃん(2)

漢字の勉強や友達とのおにごっこなど、毎日の小学校生活を楽しむ正菜ちゃん。初めての冬休みを振り返り「おばあちゃんの家に行ったり、みずき団子を作ったりして楽しかった!」と笑顔で話します。お気に入りの帽子をかぶり、たくさんの雪に大はしゃぎな由菜ちゃんは、人形のお世話やシール集めがマイブーム。最近はお姉ちゃんの真似をして様々な遊びに挑戦しています。

家族は「姉妹仲良く、困ったときはお互い助け合いながら成長して行ってほしいです」と優しく見守っています。



都南支所 共済課LA

ふじさわ たいち
藤澤 大地さん(平成29年入組)

三本柳・津志田地区を担当し、組合員の皆さんの共済の手続きや保障のご提案を行っています。事故やケガ、病気などは無いことが一番ではありますが、もしものことがあった場合に「加入していて良かった」と少しでも思ってもらえるよう、今後もLAとして正確かつ迅速な対応を心掛けていきたいです。

趣味は大相撲を見ることです。取組の迫力はもちろん、力士の象徴でもある鬘まげや着物姿に日本文化ならではの魅力を感じ、テレビや会場で観戦して楽しんでいます。



サン・フレッシュ都南さ
おでっくなんせ!

今月は 寒干し大根

2月に入り、店頭では寒干し大根の出荷が本格化しています。全国の中でも、気温が氷点下になる限られた地域で作られている寒干し大根は、茹でた大根を外に干し、その干す過程で凍る・溶けるを繰り返すことで、旨味と栄養が凝縮されます。冬の保存食として古くから親しまれている寒干し大根は、煮物や漬物、鍋料理にもおすすりめですので、ぜひご賞味ください。



高橋店長

毎年好評の寒干し大根は生産者数もわずかな貴重な食材。店頭で見かけた際にはぜひお試しください!

イベント情報

●春のお彼岸フェア
3月15日(土)~
20日(木・祝)

※2月28日(金)は決算棚卸のため終日休業とさせていただきます。あらかじめご了承ください

サン・フレッシュ都南

住所 〒020-0853 盛岡市下飯岡 21-180
TEL 637-6801
営業時間 9:00~18:00



CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Fの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、「JAやサン・フレッシュ」南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

1月号の答え

「ゲイシュン」

今月のテーマ

健康の秘訣

応募締切 2月28日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央

＼コチラから／

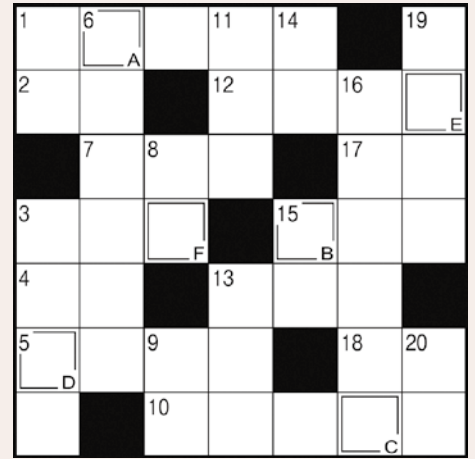
「JAんぷ2月号お楽しみクイズ」係

ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム ▶

E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp



※ご記入いただいた個人情報、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

→
ヨ
コ
の
カ
ギ

- ① 2月14日に職場などで配る人もいます
- ② リンゴの品種。青森県北東部に同じ名前の市があります
- ③ 天気が崩れて——が強まった
- ④ 寒い日にはこりやすくなる人も
- ⑤ 節分にイワシの頭を刺して飾ります
- ⑦ 紅茶の茶葉とお湯を入れます
- ⑩ 熱心に後輩を指導する、——のよい先輩
- ⑫ 看護師——ともいうナースステーション
- ⑬ 和歌山県には奈良県と三重県に囲まれた——があります
- ⑮ 不利の反対語
- ⑰ 古代インド発祥のエクササイズ
- ⑱ じゅうたんを敷く所

↓
タ
テ
の
カ
ギ

- ① 教育・勤労・納税は国民の三大——です
- ② 気仙沼の名物、サメの加工品
- ⑥ さいころや角砂糖はこの形
- ⑧ 封書を数えるときに使う言葉
- ⑨ キラキラ光る——入りのセーター
- ⑪ 風を受けて水上を進みます
- ⑬ 地銀よりも規模が大きめ
- ⑭ といで炊きます
- ⑮ 水で洗い物をするとかじかむことも
- ⑯ 多くが九州で作られている酒
- ⑲ こ、これぐらい平気だい！
- ⑳ チョキがはさみならパーは



おたより紹介 テーマ▶ 心が温かくなった出来事



月極の駐車場を借りて車を置いているが、雪が降った時には隣の車の方が雪を払ってくれる。一度も顔を合わせたこともないので、お会いした時はお礼を言いたいです。
(清水町・I / 75歳)

もうすぐ2歳になる息子に「パパ、抱っこ」と言われると、いつもママばかりなので嬉しくなります。
(三ツ割・O / 34歳)

神社にておみくじを買った若い子

が「今年大吉だったよ」と言って喜んでいた姿を見て、微笑ましく思えました。
(日詰・T / 42歳)

子どもと買い物に行った時、トイレに行ったら並んでいて、子どもは我慢できないと言っているのを聞いた前に並んでいる方が「良かったら先にどうぞ」と譲って下さり本当に助かりました。子どもへの理解と気遣いに心が温かくなり感謝しています。
(下飯岡・F / 34歳)

1月2日の誕生日に娘からプレゼントと一緒に年玉をもらいました！とても嬉しくて、そのまま大事にしまっています！
(奥州市・T / 64歳)

帰省した甥っ子が私の好物のお菓子を覚えていて、たくさ〜ん買ってきてくれました。優しい子です。
(上太田・S / 65歳)

理事会報告

1月定例理事会が1月30日、紫波支所で開かれ次の事案について決議されました。

【決議事項】

- 1 JAバンクに対する不祥事再発防止策の取組状況報告
(令和6年12月)
- 2 利益相反取引の承認(営農)
 - ①
- 3 利益相反取引の承認(営農)
 - ②
- 4 ぶどう被害にかかる対策

お詫びと訂正

1月号の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【11ページ・営農情報「キャッシュレス決済に対応しています」】

対象店舗に記載した「燃料カード決済のみ対応しております。※QRコード決済・電子マネー決済には対応しておりません。」

役員手帳



農業生産拡大に向けた 将来の農業ビジョンを

代表理事専務
佐々木 正春

穏やかな日のお出で幕を開けた2025年も1か月余りを経過し、組合員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、夏場の高温などの異常気象が続き、農畜産物の生産に影響を及ぼしたこと、岩手県出身・大谷翔平選手の大リーグでの活躍やアメリカ大統領選でドナルド・トランプ氏が再選したことなど様々な出来事がありました。一番に挙げられるのは米価が上昇したことです。これにより、農業生産に少し明るい兆しが見えたような感じがしております。しかしながら、物価上昇に伴い生産コストも上昇し、肥料や農薬などの生産資材費が高止まり状態であることや人件費のますますの上昇が予想されることから、今後も引き続き、農畜産物の適正な価格形成に向けた、国民への理解醸成に努めてまいります。

令和7年5月下旬に開催予定の第26回通常総代会では、来期から始まる第九次中期3ヵ年計画の中に将来の農業ビジョンを掲げ、農家組合員の所得向上と農業生産の拡大に向けて皆様とともに歩みを進めてまいりたいと考えておりますことから、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

INFORMATION

岩手の農業を一緒に盛り上げよう！

JAいわてグループ 合同職場説明会

JAいわてグループでは、令和8年4月採用を希望する学生等を対象とした説明会を下記の通り開催します。



参加JA JA新しいわて・JAいわて中央・JAいわて花巻・JA岩手ふるさと
JA江刺・JAいわて平泉

第1回 盛岡会場

日時 令和7年3月15日(土) 10:30~11:30(受付10:00~)
場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ) 8階会議室
申込期限 令和7年3月10日(月)

第2回(花巻会場)、第3回(一関会場)の詳細は、JAホームページよりご確認ください

参加申込

下記URLまたはQRコードから「専用申込フォーム」にアクセスいただき、必要事項を入力の上、お申し込みをお願いいたします。

URL <https://forms.gle/M9JBZTXZBc4QrVUh7>



お問い合わせ

JA岩手県中央会JA支援部 ☎626-8529

令和7年度 岩手県立盛岡農業高等学校 特別専攻科学生 二次募集のお知らせ

高校卒業後の新規就農者及び農業に興味・関心を抱いている方々を支援する社会人教育の学科です。園芸専攻では野菜栽培をしたい方向けの基礎基本を、畜産専攻では畜産の基礎はもちろん、家畜人工授精師や受精卵移植師等の資格取得が可能です。週2日登校して学習、修業年限は2年間です。

入試日程

願書受付 令和7年2月17日(月)~3月3日(月)
※入学条件は高等学校卒業または卒業見込みの方です。

試験日 令和7年3月10日(月)

試験内容 面接・作文

入試に関するお問い合わせ

岩手県立盛岡農業高等学校特別専攻科 ☎688-4211

ホームページは
こちら



資材店舗棚卸休業のお知らせ

棚卸のため、下記の日程の通り休業とさせていただきます。

ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

休業日 令和7年2月28日(金)

対象 グリーンセンター・グリーン・受注センター

〔13ページ・サン・フレッシュ都南さおでつてくなんせ〕
節分の日、恵方巻販売日の記載について
〈誤〉2月3日(月)
〈正〉2月2日(日)

This month's recipe.

新鮮食材で
楽しく
クッキング
今月のレシピ
165杯目



ナメコとエノキタケの酢の物

材料(2人分)

ナメコ(足付き)…………… 1パック
エノキタケ…………… 1/2パック(3等分)

【土佐酢】

かつおだし…………… 100ml
薄口しょうゆ…………… 大さじ1
みりん…………… 大さじ1
酢…………… 大さじ1
砂糖…………… 小さじ1/2

オクラ…………… 4本
(塩でこすりゆでる)
キュウリ…………… 1/2本
(輪切りにし塩でもむ)
おろしショウガ…………… 小さじ1/2
いりごま…………… 少々

作り方

- ① ナメコとエノキタケは石突きを落とし、ゆでてざるにあげ冷ましておく
- ② 土佐酢の材料を鍋で沸かし、冷ます
- ③ ①を②に漬け、味を含ませる
- ④ ③に小口に切ったオクラ、キュウリを入れ混ぜ合わせ、器に盛り付け、おろしショウガ、いりごまをのせ出来上がり

編集後記



JAの営農販売部・生活推進部では、担当業務を通じて取り組んだ研究発表会を毎年1月に開いています。今年は6人の職員がスマート農業やAI、畜産におけるゲノミック評価の活用などをテーマに、研究で得た成果や課題を発表しました。時代の変化に対応できる農業の実践に向け、今後広報誌でも新しい情報をお届けしてまいります。



立春が過ぎ、暦の上の季節は春。最近は何となく日脚も伸びて、日中も柔らかな陽射しを感じるが増えてきました。とはいえ、実際はまだまだ寒い日が続いていますので、油断は禁物！体調管理には引き続き気を付けたいものです。さて、今月のおたよりテーマは「健康の秘訣」！おすすめの健康法や免疫力アップのコツなど、ぜひお聞かせください。

